

システム検討委員会

システム担当理事／電子カルテ管理課顧問 北村 龍彦
電子カルテ管理課 課長 長山 信夫

電子カルテに関する運用検討と更新

昨年、電子カルテ更新に関する検討を行い、バージョンアップをせずに現行のバージョン MegaOak HR R8.0 を継続して使用する事が決定しました。ただし、基幹ネットワーク機器の更新は必要であり、9/18（金）～9/22（火）に電子カルテ更新を行いました。当日は、ネットワークが完全停止する時間帯があり、この時間帯は部門システムの参照も不可となる為、停止中の運用を各部署と慎重に検討しました。当日は、4 日間の作業でしたが、大きなトラブルや遅延も無く終了致しました。

高知県版 EHR「高知あんしんネット」参加について

昨年に引き続き、高知県が構築する「高知あんしんネット」への参加と、アップロードする項目について検討を行いました。高知県保健医療介護福祉推進協議会と委員会で意見交換を行い、システム検討委員会では処方・検査・画像データのアップロードをする方向性で決まりました。

部門システムの仮想化について

2018 年から始まった部門システムの仮想化は、2020 年に 4 期目を迎えます。4 期目の仮想化は、費用圧縮の為、電子カルテの更新と同タイミングで実施しました。仮想化対象の部門システムは以下の通りです。

- ・透析管理システム（ノーザ）
- ・勤怠管理システム（Works Human Intelligence）
- ・リハビリ管理システム（キーウェア北海道）
- ・動画管理サーバ（DGS）
- ・輸血管理システム（バイオラッド）
- ・心カテ動画システム用仮想ストレージ（キャノンメディカル）

総合診療支援プラットフォーム「CITA」の導入検討

富士フィルムメディカル社から販売されている総合診療支援プラットフォーム「CITA」の機能で、文書の作成状況をマトリクスビューで閲覧できる「クリニカルフロー」という機能があります。入院時に作成が必要な文書の進捗状況が一目で把握可能になります。入退院センターの業務軽減を目的に導入検討を行いました。使用する機能と金額に乖離があり保留となりました。但し、CITA には標準機能で「クリニカルポータル」という機能があり、当院で稼働している GE 社「CCA 統合画像参照」と同様の機能があります。統合画像参照の更新を検討する際は、CITA も選択肢に入れて再検討する必要があります。

院内外からの画像参照に関する検討

医師の働き方改革の観点から、脳神経外科より、院内外から画像参照できるシステムの導入検討がありました。セキュリティを担保した形で画像が参照できること、時間内外にスムーズに情報共有ができ、チャット機能を有すること、ネットワークセキュリティは医療情報システムの安全管理に関するガイドラインに準拠することの3点を前提にシステム選定を行いました。候補はアルム社の「JOIN」と富士フイルムメディカル社の「SYNAPSE ZERO」となり、各社の機能や、制限事項、仕組みについて検討とデモを実施しました。結果、汎用性と使い勝手を考慮し、アルム社のJOINを導入する方向で決定しました。

オンライン資格確認に関する検討

2021年3月より開始するオンライン資格確認について検討を行いました。主なサービスとして、以下が挙げられます。

- ・マイナンバーカード所有者の資格確認
- ・保険証の資格確認
- ・薬剤情報、特定検診情報の参照（原則、患者同意が必要。災害時は除く）

オンライン資格確認の導入は義務ではありませんが、診療報酬改定に伴うシステム改修での導入を促す事と、全ての医療機関での導入を目指すこと記載があることから、総務省以外からも通知がある事が予想されます。導入に関する費用は一部補助金が下りる為、補助金を有効活用し導入を前向きに検討する方向で決定しました。

診療科細分化について

近森病院の内科は大内科制としており、電子カルテは内科での運用を行ってきました。外科も同様に統合されています。7月に内科と外科をそれぞれの専門領域の診療科に細分化し、マスタ作成と変更を行いました。関連する部門システムのマスタ修正も行い、システム面での切り替えは大きなトラブルも無く移行する事ができました。今後蓄積されていくデータは細分化された診療科データとなり、様々な場面で活用される事になると思います。

Web会議用機器の院内整備について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、Web会議の需要が高まりました。必要な機材等は随時揃えていましたが、院内のWeb会議使用状況を鑑み、各会議室や医局カンファレンス室に専用の機器を追加で配置整備致しました。有料アカウントを複数用意し、今後もWeb会議が活用されると思います。

業務用インターネット回線の整備について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、前述のWeb会議の開催や参加件数が増加傾向にあります。既存のインターネット回線が非常に遅いと指摘があり、Web会議等を利用した場合、読み込みが発生し、スムーズに聴講する事が出来なくなる恐れがあります。その為、業務用インターネット回線を1回線追加し、合計3回線へ増強を行いました。各回線への負荷分散はファイアウォールで行っており、増強後はインターネットが遅いという問い合わせは無くなりました。今後の利用状況を確認しながら、業務用Wi-Fi等の整備も検討したいと思います。